

## 放課後子ども教室での取り組み

錦川シェアリングネイチャーの会 事務局長  
ネイチャーゲームコーディネーター 田中時子

### 1) はじめに

平成16年～18年の3年間日本シェアリングネイチャー協会(当時は日本ネイチャーゲーム協会)が文部科学省より放課後子どもの居場所事業を受託し、全国各地で子ども教室が実施された。

錦川シェアリングネイチャーの会(当時 錦川ネイチャーゲームの会)は、本郷町・由宇町・美和町の3か所で取り組む。私の住む美和町は、9校あった小学校が2校に統合され、少子高齢化が進む過疎地域である。本郷町も、本郷山村留学センター(以下留センと略す)なしでは小中学校の存続があやぶい状態の地域である。私はこの活動を通して協働のまちづくりがこれからは必要不可欠であると実感する。まず土台作りと思い立ち、同じ思いの仲間とともに平成17年に地域支援ネット「かぜ」を立ち上げ、休校となった旧長谷小学校を拠点に「休校しても休講なし」「過疎に立ち向かう・自然と歴史を活かす」をモットーに交流人口を増やすための事業に取り組む。地元ブランド品の岸根栗の栗拾い体験・小学1年生～6年生を対象にした2泊3日のキャンプやチェーンソーアート体験講座・エコクラブ等の企画を計画実施。特に子育て支援事業としてエコクラブの活動では、美和町の子どもたちを対象に地元の達人や婦人会の方を講師として食文化を中心に環境教育活動を行い、キャンプでは、地元山口県立岩国高校坂上分校(当時は山口県立坂上高等学校)の高校生がカウンセラーとして加わってさらに地域連携へと一歩前進する。また、エコクラブの活動は、岩国市教育委員会生涯学習課より「放課後子ども教室」の依頼を受けるきっかけとなる。

※)「放課後子ども教室」は、文部科学省と厚生労働省が進める放課後総合プランである。

放課後児童クラブは、厚生労働省が管轄する共働きの家庭の児童を対象とし、放課後等に適切な遊びや生活の場を提供する放課後児童健全育成事業。

放課後子ども教室は、文部科学省が管轄しすべての子どもを対象として、安全・安心な子どもの居場所を設け、地域の方々の参画を得て、学習やスポーツ・文化活動・地域住民との交流活動等の取組を推進する放課後子供教室推進事業。

「美和町子ども教室」へ向けて実行委員会の立上りに取り組む。地元小学校2校の美和西小学校校長・美和東小学校校長、地元市議会議員(当初は美和町連合自治会長)・美和西小学校PTA会長・美和東小学校PTA会長・長谷地区ふるさとづくり推進協議会会長・岩国市社会福祉協議会美和支部長・美和町老人クラブ会長・やさか周遊クラブ(現在は弥栄を育む会へ移行)会長・地域支援ネットの「かぜ」事務局長を構成員とする。平成24年に美和町子ども教室実行委員会と岩国市教育委員会は委託契約を結び、事業を実施中である。

### 2) 「放課後子ども教室」でのネイチャーゲーム活用(1)

2015年のある日のこと、錦川シェアリングネイチャーの会のメンバーの一人から、岩国小区域で、ネイチャーゲームを中心に「放課後子ども教室」をやってみたいと要望がある。岩国市教育委員会

へ相談すると、錦川シェアリングネイチャーの会での委託契約が結ぶことができることがわかる。早速、教育委員会の社協主事と岩国小学校へ訪問。校長先生の意向を鑑み「岩国小こども教室」の一環として[iwakuni 自然発見塾]を実施する運びとなり、5回の実施計画を作成。その後、岩国市と錦川シェアリングネイチャーの会は委託契約を結ぶ。

日時	内 容	場 所	気づき等反省
5/30	はじめまして カモフラージュ 宝さがし	紅葉谷公園 岩国城のロープウ エイまで散策	校長先生と民生委員が参加。子どもたちの目の輝きをみて民生委員さんが楽しい半日が過ごせた感動。
8/29	ノーズ 私は誰でしょう 動物発見ラリー コウモリとガ	岩国小グラウンド	夏休み前にチラシを配布したので、参加者が少なかったのかと反省 配布の日を検討する。
10/24	ジャンケン落ち葉集め 木の葉のカルタとり おちばがお クラフト(葉っぱの窓)	紅葉谷公園	少人数ながらも落ち葉を使ったアクティビティを楽しんでいました。
1/10	じゃんけん落ち葉集め 木の葉のカルタとり 美の小道 大地の窓	長山公園	12/6 に実施予定は、他の行事と重なり参加者が少なかったため、長山公園での主催事業に参加してもらった。
2/20	裸足で歩こう フィールドビンゴ”太陽と風“ フクロウとカラス	鶴飼広場	インフルエンザが蔓延したため中止

### 3) 実行に向けて

岩国市立岩国小学校は、岩国城や錦帯橋のおひざもとでもあり由緒ある小学校である。岩国小学校校長、児童民生委員の2名、地元有志(元岩国小校長)の4名が準構成員としてメンバーに加わる。第一回役員会を3月に開催。準備物は以下の通りである。

- ① 平成27年度放課後子供教室推進事業実施計画書
- ② 平成27年度放課後子供教室推進事業経費計画書
- ③ チラシ(表・裏)

#### 保護者のみなさまへ

「岩国小こども教室」は、岩国小学校の子どもを対象とします。子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進することを目的としています。放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、安全・安心な子どもの活動拠点(居場所)を設けます。

地域の方々の参画を得ながら、子どもたちに勉強やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の機会を提供します。

錦川シェアリングネイチャーの会は、子どもたちが自然と触れ合いながら、豊かな心を育むことを目指しています。

このたび、第一回「初夏のついで」では、紅葉谷よりネイチャーゲームを体験しながら岩国城下まで歩き、0-7 台(駐車場にて解散)となります。実費として0-7 台の料金 150円を徴収いたします。

保護者の方でお迎えをされる方は、0-7 台(駐車場にてお待ちください。年5回を予定しておりますので、多数の参加をお待ちしています。



錦川シェアリングネイチャーの会

岩国小こども教室

## iwakuni 自然発見塾

日時 平成 27 年 5 月 30 日 (土曜日)

時間 9 時～12 時 30 分 受付開始 8 時 30 分

集合場所 もみじ谷公園 対象 小学 1～6 年生

参加費 150 円 定員 50 名 (定員になり次第締切)

～春のつどい～

『シェアリングネイチャー』それは、人が自然を尊重し共生していく社会のキーワード。

本物の自然体験は、森や海に出かけていかないと「できない」と思いませんか？じつは…近くの公園や校庭でも深い自然体験をすることができます。少子化、都市化に加え、幼児期から、様々な思い事をする子どもも多く、最近の子どもたちには、「三つの空間（仲間・空間・時間）」がないといわれています。家庭での外遊びの時間はこの 20 年あまり激減しました。外遊びを通して自然にふれあい五感を使うこと、集団遊びの中で人間関係を作ることで、それらが求められています。五感を使うことで、身近な場所が大自然に変わり、多様な生命を感じる感動体験の宝庫になる・・・それが「ネイチャーゲーム」です。この機会にぜひ、体験してみよう！

- ◆主催 岩国市教育委員会 主管 錦川シェアリングネイチャーの会
- ◆申込方法は、下記の申込用紙にご記入の上、FAX を送ってください。連絡先は必ずご記入ください。
- ◆持 参 品 バンダナ・お茶・ハンカチ・おむつ・保護証の写し・その他各自必要なもの
- ◆問合せ先 錦川シェアリングネイチャーの会事務局田中 090-8360-4941 事務局補佐末弘 43-4881

..... 申込先 FAX 43-4881 (事務局補佐末弘) .....

児童名 \_\_\_\_\_ 第 \_\_\_\_\_ 学年 性別 男 女

児童名 \_\_\_\_\_ 第 \_\_\_\_\_ 学年 性別 男 女

児童名 \_\_\_\_\_ 第 \_\_\_\_\_ 学年 性別 男 女

〒 \_\_\_\_\_ 岩国市 \_\_\_\_\_ 区 \_\_\_\_\_ 保護者氏名 \_\_\_\_\_

- ④ ネイチャーゲーム下見チェック表
- ⑤ ネイチャーゲーム実践計画書
- ⑥ ふりかえりシート(参加した児童の感想)
- ⑦ 日本協会からの配布資料

その後、「iwakuni自然発見塾」がきっかけに、岩国市教育委員会が「岩国小こども教室」が立ち上げ準備を行う。「小糠踊りの会」「篠笛の会」「論語の会」「遊巣の会」「錦川シェアリングネイチャーの会」の5団体で構成され、この事務局を錦川シェアリングネイチャーの会の一人が引き受けることになる。

#### 4)「放課後子ども教室」でのネイチャーゲーム活用(2)

美和町子ども教室は、2年前から本郷町と美和町の小学校の児童を対象となる。(地域縮小) 新たな取り組みとして放課後児童クラブで、ネイチャーゲーム体験を計画。岩国市教育委員会の社協主事と本所の子ども支援課を訪問。

昨年の事業の「マス釣り」のDVD、「きらきら輝く子ども元気塾」のDVDを持参。子ども支援課が快く承諾してくれたことは、ちょっと拍子抜けしましたが心の中では「ラッキー」「これから大変だな」という気持ちが交差した。

美和東小学校と美和西小学校と本郷山村留学センター(留セン)の3か所で実施。子ども支援課(美和総合支所)と教育委員会と相談の上、美和町子ども教室は夏休みから開始して年回6回、本郷町は3回を予定(直に留センと日程を調整する)。美和町実行委員会の役員に前本郷保育園の園長先生(地域支援ネット「かぜ」所属)が加わる。

夏休みを終了した時点で、学童保育の指導員さんとも相談した結果、運動会の振替休日、冬休み、春休みに実施するのがいいですねということになる。

日時	内 容	場 所	気づき等反省
5/17	ノーズ 私は誰でしょう 動物交差点 動物カテゴリー	本郷山村留学センター(室内)	留センの子どもたちと本郷の子どもが1人参加する。ちょっと不安な子どもたちも最後は楽しくアクティビティを楽しんだ。
7/29	ノーズ 私は誰でしょう	午前→美和東小 午後→美和西小	保護者から参加の承諾をもらった子どものみ参加。自由きままな

	動物交差点	晴天の為体育館へ	子どもたちに驚く。指導員も大変と実感。
8/26	音いくつ 色いくつ フィールビンゴ コウモリとガ	午前→美和西小 午後→美和東小	参加すること参加しない子どもがいる。導入を考えることにする。参加した子どもは楽しんでいるが、もっと周りの自然を感じてほしいと感じる。
9/23	イニシアティブゲーム はじめの一步 カモフラージュ	本郷山村留学センター(屋外)	心を溶かしてからアクティビティに入った。いつも一緒の子どもたち同士だか心は開いていないと感じる。
9/24	音いくつ サウンドマップ 森の色合わせ ジクソーストーン	午前→美和西小	美和東小は、参加者が1名だったため中止。体力・耐性・仲間意識が欠けると感じる。自己中心が多い。
1/6	レクゲーム(シナプソロジー) じゃんけん落ち葉集め 木の葉のカルタとり 動物ヒントリレー	午前→美和西小 午後→美和東小	フローラーニングの大切さを感じる。参加しないといった子どもが参加。全員がアクティビティを通して生き物に関心をもった。
3/5	レクゲーム(シナプソロジー) 動物ヒントリレー 動物質問室 木こりの親方	本郷山村留学センター(屋外)	留センの先生も参加してもらおう。次回を楽しみにする子どもが増えた。留センの先生がネイチャーゲームに興味をもった。
3/30	レクゲーム コウモリとガ 自然おもしろクイズ フクロウとカラス	午前→美和西小 午後→美和東小	高校生ボランティアが多く参加してくれたので、自然面白クイズを手伝い、ネイチャーゲームに興味をもった。(意外と動物の生態を知らない高校生)

## 美和町子ども教室

### 自然体験教室①

平成 27 年 〇 月 〇 日

10 時～12 時 受付開始 9 時 30 分～

集合場所 美和〇小 放課後児童教室

対 象 小学 1 年生～6 年生

参加費 無 料

ネイチャーゲームを通して自然を体感してみよう！ 春・夏・秋・冬 4 回実施

**講師** 錦川シェアリングネイチャーの会

持ち物...ハンダナ、お茶、タオル、ハンカチ、飲み水

- 対象 美和町本郷町の小学生 ◎締切 2015 年 月 日 ( )
- 主管 美和町子ども教室実行委員会 \*主催 岩国市教育委員会
- 下記の申し込み用紙に必要事項を記入の上、FAXまたはEメールに送信してください。

◇問い合わせ先 美和町子ども教室事務局 田中 090-8360-4941 (直ぐに出ない場合があります)

・・・FAX95-0009・・・Eメール [nal16354@nifty.com](mailto:nal16354@nifty.com) .....

児童名	男 女	第	学年	本郷小
児童名	男 女	第	学年	本郷小
児童名	男 女	第	学年	本郷小

保護者名 \_\_\_\_\_ 連絡先 \_\_\_\_\_

必ず連絡ができる電話番号をご記入ください。

## 美和町子ども教室

会報 11 号

平成 28 年 3 月発行

錦川シェアリングネイチャーの会 運営委員長 バードさん

美和東小と美和西小の放課後子供教室で「自然体験教室」として、ネイチャーゲームを体験してもらいました。

また、本郷山村留学センターでも「自然体験教室」を開催しました。

今年度のトピックス

- ・岩国高校上位分校の高校生が、ボランティアとしてたくさん参加してくれました。
- ・放課後子ども教室と連携ができました。
- ・本郷の子ども達とも交流ができました。

みんなが夢中になったアクティビティ「動物カテゴリー」!!!

★本郷山村留学センターにて ★美和東小放課後教室にて ★美和西小放課後教室にて

子ども音楽体験の様子

木工工作教室

あっとい間に1年が過ぎました。今年1年の参加者合計209人。男子115人・女子94人。高校生ボランティアさん12人。多くの参加をいただきありがとうございました。来年度も子ども教室を開催しますので、多数の参加をお待ちしています。この活動を通して子ども達が健やかに成長していってほしいと心から願っています。美和町子ども教室実行委員会

### 5) コーディネーターとして

岩国市と玖珂郡和木町を活動範囲としている錦川シェアリングネイチャーの会ですが、範囲が広くなかなか同じ場所で続けて開催することは大変。行政との折衝は長年のお付き合いのおかげで、後援から共催して頂けるところまでこぎつけた。

3年ごとに市役所の職員は移動するが、今では私たちの活動を理解してもらっているので「伝達されてない・聞いてない」はない。

コーディネーターのみなさん、是非文部科学省と厚生労働省が進めている「放課後総合プラン」に取り組もう。行政と協働事業ができ活動資金も調達できる。事務局またはコーディネーターとして後援申請のために市役所を訪問されると思う。それぞれの市役所事情があるかと思うが、コーディネーターとして実際に介入してみるとそうむずかしいことではない。是非、挑戦あれ。ただ、行政との交渉は、「やるき」と「がまん」の繰り返しの連続。昨年地元総合支所の子ども支援課へ交渉した結果は、「却下」放課後児童クラブの子どもと一般の子どもたちとの一緒に活動は、保険などの面でむずかしいということ。せんないことはしたくないということ。今年は、交渉の仕方を変え、直接、本所の子ども支援課と話し合いの場を設けてもらった。むろん一般の子どもたちの場と学童保育の子どもたちの場は別々での活動計画とする。しかし、ここまでこぎつけることが重要。これからの活動をどのように進めていくか、現場との交渉。ネイチャーゲームを楽しみにまっている子どもたちがいることをこの活動を通して実感しているからである。

コーディネーターとして、人と人のつながりの大切さをひしひしと感ずることがある。これから、いまから、ネイチャーゲームの場所を設定すること。ネイチャーゲームを体験した子供たちの笑顔が、未来をつなぐ手助けにつながると信じている。多くの子どもたちにネイチャーゲームを体験してもらいたいという思いは、コーディネーターからリーダーへ意向。自然案内人の一人として暮らしの中で自然を楽しみ、他者の思いやりや生命を大切にすることを育む活動に続けていきたい。ただ体験プログラムをこなしていくだけでは、本当の意味での子育て支援といえるのか？子どもたちが目を輝かせて私たちが行くのを待っている。子どもたちの第一声「今日はどんなネイチャーゲームをするの」。この声を聞くとうれしさと同時にやりがいを感じる。さあ、頑張ろう！

★せんない(方言で、いやなことと解釈してください)

